

# 檜原村の研究を通じた、地域の活性化につながる事業創造の検討

## ◆プロジェクトテーマ

東京都「檜原村」の環境や産業の研究を通じ、村の活性化につながる事業創造の可能性を調査する。

消滅可能性都市 村内鉄道なし  
東京都 空き家175軒以上  
生産年齢人口減少 人口2,112人(都内最少\*)  
9割以上が森林 平均年収264万円(都内最低\*)  
診療所1軒、高校なし 平均年齢53.9歳(都内最高\*)  
\* 島しょ部除く(2021年時点)

## ◆地域ビジネスへの関心

- ・地域ビジネスに関心を持つメンバーが集結。
- ・少子高齢化や交通・就業環境などで課題のある地方に焦点を当て、地域の発展に貢献したい。
- ・地域ビジネスは、地元住民(ジモティ)の理解や協力が必要であり、継続的の訪問を通じた関係構築が必要。

## ◆「過疎地域持続的発展」への貢献

- ・檜原村は山間という立地条件から交通不便な地であることから、基幹産業が限られており、脆弱な財政状況。
- ・檜原村の持つ自然的・社会的条件を生かした産業振興を図ることで、過疎地域の経済的・社会的な持続的発展を促すことを目指す。

## ◆板倉PTの財産(蓄積)の活用

- ・地域ビジネスの活動で重要となる地元住民(ジモティ)との良好な関係が構築されている。
- ・これまでの檜原村での取組みにおいて培った成功も失敗も、今後の活動に活かすべき非常に重要な要素。
- ・限られた期間と時間で、PBLの効果を最大化するためには、これら財産を活用すべき。

## ◆檜原村で地域ビジネスに取り組む

過疎地域である檜原村の発展に寄与する地域ビジネスへの取組みを目的として、檜原村の環境や産業を研究し、同村ならではの地域活性化につながる新事業創造の可能性を模索した。現地訪問と事業立案を重ねた結果、4事業を立案した。

### 「オフィス木質化」

檜原村産材を港区オフィスの内装工事に用いて、国産材の利活用の検証を行った。

### 「木の染め物」

檜原村産の樹木や温泉を用いた染め物の商品化について試作と検証を行った。

### 「木のお酒」

国立森林研の開発した世界初の製造特許を用いて、檜原村における酒造可能性を探った。

### 「デジタル村民制度」

NFT等を活用して檜原村のデジタル関係人口を増やし、持続可能な社会の可能性を探った。

## ◆実地調査や課外活動を実施

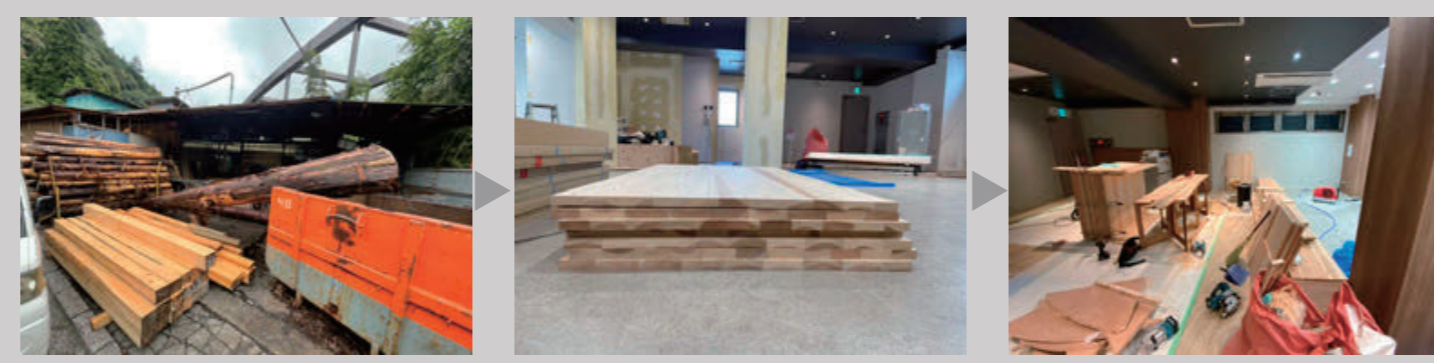
檜原村村長や村役場をはじめとした村内ステークホルダーと連携し、ビジネス検討を行いました。また、豊橋創造大学との合同活動や、横幹連合コンファレンスでの研究発表などを通して、実現可能性の検証を深めて実証を推進した。



## Value Transformations

社会課題やトレンドを踏まえた「木」の価値変換

### ×Interior 「オフィス木質化」



### ×Artist 「木の染め物」



### ×Science 「木のお酒」



### ×ICT 「デジタル村民制度」



## 豊橋創造大学との合同活動



## 第13回横幹連合コンファレンスでの研究発表

